

アルミ製「分煙ブース」

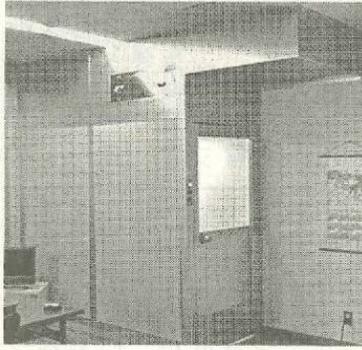
坂口製作所が開発

クリーンブース製造技術を活用

アルミ・ステンレスに特化した板金・溶接、組立加工業者、坂口製作所（本社・大阪市西成区、社長・坂口清信氏）はこのほど、クリーンブースの設計・製造・現地組立作業の技術とノウハウを活用して、独自製品「アルミ分煙ブース」を自社開発した。アルミ分煙ブースは本社社屋内に設置した。

分煙ブースは形材がターを介して建屋喚起アルミニウムで、壁面口より屋外へ排気するがアルボリック（アル）方式。

「クリーンブースお特長は天井面に脱臭フよび分煙ブースを拡販イーターを設置。プーしたい。当社HP（htps://sakaguchi-ss.co.jp/）の煙を脱臭フィル（）の加工事例・ク



独自製品「アルミ分煙ブース」

クリーンブースから、見積お問い合わせ」をズや清浄度などのデータ「クリーンブース簡易開いてもらえば、サイトを入力するだけで見

積みが可能。一兩日中に連絡できるので、気軽に活用していただきたい」（坂口社長）。

クリーンルーム内で、さらに高浄度な領域が必要な場合に設置されるのがクリーンブース。同社では1998年からクラス100（0.5μm以上の浮遊物が1立方メートルに100個以下）までの清浄度が実現可能なアルミニウム製およびステンレス製のクリーンブースを製造。製薬、食品、化学、半導体など国内外の多くの工場に納品している。

坂口製作所は1955年創業で、86年の設立。従業員数が82人。和歌山工場はアルミ溶接で「軽金属溶接構造物製造工場M級」（軽金属溶接協会）の認定

を受けている。生産品実験動物飼育ラック、ネシウム合金の溶接や目は新幹線の部品、空食品・製薬工業用トクリーンブースの製造港化学消防車用水槽、レーなど。難燃性マグに力を入れている。

坂口製作所、アルミ製『分煙ブース』を開発
鉄鋼新聞2018・10・04(5面)掲載記事